

## 新型コロナワクチン接種に係る費用の請求及び 受領に関する届を提出する際の留意事項について

職域接種用に類似コードが付番された際には接種実施医療機関と振込先口座を紐づけることが必要になるため、遅くとも初回請求時までに口座届出書として標記届を国保連に提出することとされています。その記入方法等について多数お問合せをいただいているため、以下のとおり問合せ内容を留意事項として取りまとめましたので、同届を国保連に提出する際にご参照ください。

### ○記入全般について

- 1 1つの類似コードごとに1枚の届出書を、接種会場のある市町村と接種会場のある都道府県の国保連に提出してください。
- 2 届出書の記入項目については、集合契約に参加する際に提出する委任状と同内容を記入してください。
- 3 詳細については、厚生労働省ホームページ掲載の「職域接種にかかる費用請求に関する説明会」（令和3年7月28日）や「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する職域接種向け手引き」等をご参照ください。
- 4 一度届出書を提出した後に、送付先の変更等があり変更届を提出した場合に、処理の工程によってはその変更の反映に2か月程度要することがありますので、ご了承くださいませようお願いします。

なお、各項目の留意事項については、別紙の見本をご参照ください。

# 見本

○各項目の記入について

## 新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用の 請求及び受領に関する届

20 年 月 日 提出

国民健康保険団体連合会 御中

類似コード(大阪府の会場の場合には、270999で始まる番号)を記入

開設者(代表者) 住所  
氏名

新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用の請求及び受領に関する届を下記のとおり提出いたします。

医療機関等番号		TEL	
フリガナ	接種会場の名称を記入	FAX	
医療機関等名称		振込先	金融機関コード
郵便番号		支店名	支店コード
フリガナ	接種会場の郵便番号・所在地・TELを記入	預金種目	1:普通 2:当座 <small>該当番号に○を付けて下さい。</small>
所在地		口座番号	国保連に最初に予診票等を提出する年月を記入 未定の場合には、最初に接種する翌月を記入
フリガナ	開設者(代表者)と同じ内容を記入	フリガナ	
請求者		口座名義人※	
届出理由(該当番号に○を付けて下さい。)		請求開始(変更)	旧医療機関等番号
1	新設	20 年 月 より	
2	開設者または口座名義人の変更		
3			
4	初回請求時には、1(新設)に○を記入		
備考	国保連からの連絡先・各種書類の送付先が、接種会場の連絡先・所在地と異なる場合には、備考欄に送付を希望する連絡先・名称・住所地等を記入		

一般的には、  
企業内診療所・企業が新たに設けた診療所の場合  
⇒企業に属する方の開設者(代表者)を記入  
それ以外の場合  
⇒職域接種申請時に登録した医療機関の開設者(代表者)を記入

国保連に最初に予診票等を提出する年月を記入  
未定の場合には、最初に接種する翌月を記入

※開設者(代表者)と口座名義人が異なる場合には、委任状も添付いただく必要があります。

開設者(代表者)が企業に属する方で、口座名義人が企業の法人名の場合には、委任状は不要